

## 第2章 道路の状況

### 1 市内道路の整備状況

#### (1) 幹線道路・補助幹線道路の整備状況

- ・幹線道路は、13路線（国道2路線・県道6路線・市道5路線）を位置づけています。整備状況については、市道7号線（観音通線）の一部を残し整備が完了しています。
- ・補助幹線道路は、市道11路線で、平均整備率は、56%となっています。

表2-1【幹線道路の整備状況（路線別）】

〈平成30年9月末現在〉

No.	種別	路線名	計画幅員	計画延長	整備済延長	整備率
1	国道	一般国道254号	—	2,080m	—	—
2		一般国道254号バイパス	—	3,420m	—	—
3	県道	主要地方道県道朝霞蕨線	—	7,159m	—	—
4		主要地方道保谷志木線	—	2,656m	—	—
5		一般県道新光志木線	—	4,396m	—	—
6		一般県道新座和光線	—	2,480m	—	—
7		一般県道ふじみ野朝霞線	—	1,210m	—	—
8		一般県道東京朝霞線	—	693m	—	—
9	市道	市道2号線（緑ヶ丘通線）	16m	3,430m	3,430m	100%
10		市道7号線（観音通線）	16m	900m	829m	92%
11		市道8号線（上ノ原通線）	20m	900m	900m	100%
12		市道643号線（本町通線）	18m	380m	380m	100%
13		市道1000号線（本町通線）	18m	1,020m	1,020m	100%
合計（市道のみ）			—	6,630m	6,559m	99%

表2-2【補助幹線道路の整備状況（路線別）】

〈平成30年9月末現在〉

No.	種別	路線名（呼称名）	計画幅員	計画延長	整備済延長	整備率
1	市道	市道1号線（二本松通り）	11m	3,297m	2,362m	72%
2		市道3号線	12m	2,292m	1,735m	76%
3		市道5号線	10m	2,400m	755m	32%
4		市道8号線（公園通り）	12m	1,930m	671m	35%
5		市道9号線（宮戸橋通り）	10m	3,708m	2,727m	74%
6		市道10号線	10m	2,224m	492m	22%
7		市道15号線	12m	617m	163m	26%
8		市道20号線	12m	744m	492m	66%
9		市道21号線	12m	311m	128m	41%
10		市道22号線（東通り）	12m	1,495m	786m	53%
11		市道2002号線	10m	790m	790m	100%
合計			—	19,808m	11,098m	56%

## (2) 主要生活道路の整備状況

主要生活道路の整備状況は、従前の計画において位置づけられた幅員8m以上の計画路線19路線の整備状況は、整備率が低い状況で、整備率20%未満が10路線あります。

表2-3【主要生活道路の整備状況（路線別）】

〈平成30年9月末現在〉

No.	路線名	計画幅員	計画延長	整備済延長	整備率
1	市道12号線	10m	689m	119m	17%
2	市道14号線	10m	1,125m	153m	14%
3	市道90号線	10m	1,051m	136m	13%
4	市道185号線	10m	384m	126m	33%
5	市道200号線	10m	453m	100m	22%
6	市道264号線	10m	615m	383m	62%
7	市道374号線	10m	310m	0m	0%
8	市道398号線	10m	441m	29m	7%
9	市道466号線	10m	944m	434m	46%
10	市道479号線	10m	470m	0m	0%
11	市道2032号線	8m	310m	152m	49%
12	市道2034号線	8m	70m	0m	0%
13	市道2131号線	10m	152m	76m	50%
14	市道2160号線	8m	468m	0m	0%
15	市道2266号線	10m	226m	0m	0%
16	市道2267号線	10m	149m	0m	0%
17	市道2327号線	8m	200m	79m	40%
18	市道2328号線	8m	314m	314m	100%
19	市道2330号線	8m	360m	234m	65%
合計		—	8,731m	2,335m	27%

## 2 都市計画道路の整備状況<平成 30 年 9 月末現在>

都市計画道路は、市内の地域間の交通を集約するとともに、隣接する都市との連携の役割を果たすなど、都市の骨格（道路網）を形成する重要な道路です。

本市の都市計画道路の整備率は、平成 30（2018）年 9 月末時点で約 54%となっており、埼玉県が平成 28（2016）年度末時点でとりまとめた、県全域での平均整備率 61%と比較しても低い水準となっています。

- ・本市の都市計画道路は、15 路線、総延長 25,115mが計画決定されており、そのうち整備済延長は 13,504mで、整備率は約 54%となっています。
- ・現在、市施行で観音通線と駅東通線の 2 路線、県施行で一般国道 254 号バイパスと岡通線が事業中となっています。

表 2-4 【都市計画道路】 ※廃止路線除く <平成 30 年 9 月末現在>

No.	路線名	計画幅員	計画延長	整備済延長	整備率
1	東京小諸線	18m	2,080m	2,080m	100%
2	駅前通線	25m	100m	100m	100%
3	中央通線	16m	940m	0m	0%
4	岡通線	18m	4,240m	1,645m	39%
5	観音通線	16m	900m	829m	92%
6	緑ヶ丘通線	16m	3,430m	3,430m	100%
7	黒目川通線	18m	5,180m	380m	7%
8	下ノ原通線	16m	1,450m	0m	0%
9	志木和光線 (一般国道254号バイパス)	36m	3,420m	1,920m	56%
10	本町通線	16m、18m	1,400m	1,400m	100%
11	上ノ原通線	20m	900m	900m	100%
12	朝霞新座線	25m	600m	600m	100%
13	駅西口富士見通線	18m	179m	179m	100%
14	駅東通線	20m	250m	41m	16%
15	本町1号線	12m	46m	0m	0%
合計			25,115m	13,504m	54%

### 3 国道及び県道の整備状況

本市の国道及び県道は、国道2路線、県道6路線があります。  
現在、一般国道254号バイパスの整備が推進されています。

表2-5 (1) 国道

No.	路線名	市内延長	備考
1	一般国道254号 (都市計画道路 東京小諸線)	2,080m	全線整備済
2	一般国道254号バイパス (都市計画道路 志木和光線)	3,420m	第1期整備区間供用
合計		5,500m	

#### ① 一般国道254号バイパスの整備状況

- 第1期整備区間(国道298号～県道朝霞蕨線:延長2,560m)は、平成22(2010)年に暫定2車線で供用を開始しました。その後、交通量の増加により発生する渋滞解消のため、平成24(2012)年7月に和光市内の4車線化工事が完了し、現在、朝霞市内(台交差点～県道朝霞蕨線)の4車線化工事等が進められています。
- 第2期整備区間(県道朝霞蕨線～国道463号:延長4,290m)は、平成31(2019)年3月末時点で朝霞市内の用地取得率は約88%となっており、現在は用地買収の他に国道463号(浦和所沢バイパス)との立体交差橋及び立体交差工事が進められています。

#### ② 一般国道254号バイパスの完成により期待される効果

- 市街地に流入してくる自動車交通の抑制や現道の国道254号の交通量が減少することにより、交通渋滞の緩和や大気汚染の改善に寄与します。
- 沿道サービス施設や企業立地などバイパスの特性を活かしたまちづくりが沿道で進むことにより、にぎわいと活気あるまちの創造が期待できます。
- 首都圏中央連絡自動車道と東京外かく環状道路の連結する県南地域の道路ネットワークの強化により観光振興、防災機能の強化が期待できます。

表2-6 (2) 県道

No.	路線名	市内延長
1	主要地方道 朝霞蕨線	7,159m
2	主要地方道 保谷志木線	2,656m
3	一般県道 和光志木線	4,396m
4	一般県道 新座和光線	2,480m
5	一般県道 ふじみ野朝霞線	1,210m
6	一般県道 東京朝霞線	693m
合計		18,594m

<朝霞市道路網図>



図2-1 朝霞市道路網図

平成30年3月版

## 4 地域別の状況

都市計画マスタープランで設定した5地域の状況について、地域ごとに概況等を整理しました。



表2-7 地域区分の対象町丁目

地域	対象町丁目
(1) 内間木地域	大字上内間木、大字下内間木、大字浜崎の一部、大字宮戸の一部、大字田島の一部
(2) 北部地域	北原1・2丁目、西原1・2丁目、朝志ヶ丘1～4丁目、宮戸1～4丁目、浜崎1～4丁目、田島1・2丁目、大字宮戸の一部、大字浜崎の一部、大字田島の一部
(3) 東部地域	岡1～3丁目、根岸台1～8丁目、仲町1・2丁目、大字岡、大字根岸、大字台、大字溝沼の一部
(4) 西部地域	三原1～5丁目、西弁財1・2丁目、東弁財1～3丁目、泉水1～3丁目、膝折町3丁目の一部、膝折町4丁目の一部、大字溝沼の一部、大字浜崎の一部
(5) 南部地域	本町1～3丁目、溝沼1～7丁目、幸町1～3丁目、栄町1～5丁目、青葉台1丁目、膝折町1・2・5丁目、膝折町3丁目の一部、膝折町4丁目の一部、大字溝沼の一部、大字膝折、基地跡地、陸上自衛隊朝霞駐屯地

表 2-8 (1) 内間木地域

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域の概況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の北東側を流れる荒川、南西側を流れる新河岸川にはさまれた荒川低地で構成されています。</li> <li>• 地域の全域が市街化調整区域で、古くからの農地及び集落地となっており、緑の多い田園風景が広がっています。</li> <li>• 地域の北側には、工業系施設や倉庫などの土地利用が見られます。</li> <li>• 工業系の施設と既存集落との混在が見られます。</li> <li>• 新河岸川からの水害を防止する施設として、朝霞調節池が平成 20（2008）年に設置されました。</li> <li>• 市営の温浴施設（「湯〜ぐうじょう」）が平成 25（2013）年に廃止となりました。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">道路を取り巻く状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本地域と市内他地域を結ぶ主要な幹線道路が 2 路線あります。</li> <li>• バス路線は、路線数、運行本数も少ない状況です。</li> <li>• 道路幅員が狭い箇所が多くあります。</li> <li>• 一般国道 254 号バイパスが、平成 22（2010）年に第 1 期整備区間を暫定 2 車線で供用開始し、現在、第 2 期整備区間の整備を進めています。</li> <li>• 大型車両の通行が多く、慢性的な渋滞が続くため、集落地内の通過交通も多く見られます。</li> <li>• 地域内に小中学校がなく、通学距離が長い状況です。</li> <li>• 長期未整備都市計画道路であった新河岸川通線の全線を廃止しました。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域内道路の整備課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 安全な歩行者空間の確保、通学路のルートの見直しなどが求められています。</li> <li>• 他地域に比べ鉄道・バスなどの公共交通網へのアクセスが不足しているため、コミュニティバスルートの見直しなど、公共交通空白地区としての対応が望まれます。</li> <li>• 一般国道 254 号バイパスの早期整備が期待されます。</li> <li>• 一般国道 254 号バイパスの一部供用開始に伴い、周辺道路のネットワークの再構築が必要です。</li> <li>• 一般国道 254 号バイパスの交通利便性を活かした沿道の土地利用等が求められています。</li> </ul>

表 2-9 (2) 北部地域

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域の概況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の北側を新河岸川が、南側を黒目川が流れています。</li> <li>• JR武蔵野線が地域の中央を東西に、東武東上線が地域界を南北に走り、地域の南西側に北朝霞駅・朝霞台駅があります。</li> <li>• 地域の東側から南側は市街化調整区域で、農地が広がっています。</li> <li>• 一方、西側の駅周辺は市街化区域で、商業地や住宅地となっています。</li> <li>• 駅周辺は、土地区画整理事業が完了しており、商業集積が図られています。</li> <li>• 駅周辺と河川沿いとの間には高低差があり、坂が多い地域です。</li> <li>• 平成 23 (2011) 年に宮戸 2 丁目地区 (旧暫定逆線引き地区) の約 10.8 ha が市街化区域に編入され、その一部で組合施行による土地区画整理事業が進んでいます。</li> <li>• 地域の北側は市街地の形成年代が古く、小規模な開発による宅地化が進んできた地区です。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">道路を取り巻く状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 道路幅員が狭く、歩道が設置されている道路が少ない状況です。</li> <li>• 朝霞台駅のエレベーター設置等、バリアフリー化が課題となっています。</li> <li>• 駅前に地下自転車駐車が設置されています。</li> <li>• 都市計画道路岡通線は、未整備区間があります。</li> <li>• 住宅が密集した地域では、狭い道路等が多く、防災上配慮が必要なエリアがあります。</li> <li>• 長期未整備都市計画道路であった新河岸川通線の全線を廃止しました。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域内道路の整備課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 安全な歩行者空間の確保が求められています。</li> <li>• 駅周辺の駐輪場のさらなる有効活用や公共交通機能の充実など、使いやすい駅前空間づくりが必要です。</li> <li>• 抜け道などとして利用されている生活道路について、面的速度規制や一方通行化などの導入による交通安全対策が求められています。</li> <li>• 自転車道のネットワーク化についての検討が望まれます。</li> <li>• 住宅地における体系的な交通網の充実や、狭あい道路や行き止まり道路の解消などが望まれます。</li> <li>• 一般国道 254 号バイパスの早期整備が期待されます。</li> <li>• 旧暫定逆線引き地区内における区画道路の整備推進が必要です。</li> </ul>

表 2-10 (3) 東部地域

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域の概況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の北側を黒目川が流れ、東端で新河岸川と合流しています。地形は川沿いの荒川低地と内陸部の武蔵野台地となっており、坂が多い地域です。</li> <li>・地域の北側及び東側は市街化調整区域で、農地及び集落地が広がっています。</li> <li>・地域の西側を東武東上線が南北に縦断しており、南側に朝霞駅があります。</li> <li>・旧暫定逆線引き地区である岡1丁目地区（約10ha）、根岸台2丁目地区（約14.9ha）、根岸台7丁目東地区（約8.9ha）、根岸台7丁目西地区（約8.6ha）が市街化区域に編入されました。</li> <li>・平成20（2008）年に向山地区（約4.8ha）の土地区画整理事業が完了し、また、朝霞駅東口の駅前広場についても同年に完成しました。</li> <li>・根岸台3丁目の大規模工場跡地において、戸建住宅、集合住宅、商業施設が立地する面的なまちづくりの整備が行われています。このエリア周辺及び大字台地内の東地区の一部を、「まちづくり重点地区」に位置づけています。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">道路を取り巻く状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車と歩行者の道路機能が混在しています。</li> <li>・朝霞駅を起点に、コミュニティバスなど、多くのバスが運行していますが、一部、公共交通空白地区が残っています。</li> <li>・整備中の駅東通線により、駅へのアクセス向上が期待できます。</li> <li>・一般国道254号バイパスの暫定2車線供用開始に伴い、都市計画道路新河岸川通線が全線廃止となりました。</li> <li>・根岸台5丁目土地区画整理事業は、平成31（2019）年3月に換地処分しました。</li> <li>・長期未整備都市計画道路であった中央通線の一部を廃止しました。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域内道路の整備課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な歩行者空間や通学路の整備が求められます。</li> <li>・幅員が狭い道路やカーブが連続する道、形状が複雑な交差点、歩行者が歩きにくい歩道など安全な道路整備が必要な箇所が多くあります。</li> <li>・駅への交通手段として、自転車の通行量が多く、自転車・人・車の通行の錯綜がみられます。</li> <li>・根岸台3丁目の大規模工場跡地周辺及び大字台地内の東地区の周辺においては、今後増加する交通量を精査し、道路整備を推進する必要があります。</li> <li>・一般国道254号バイパスの早期整備が期待されます。</li> <li>・一般国道254号バイパスの一部供用開始に伴い、周辺道路のネットワークの再構築が必要です。</li> <li>・根岸台5丁目土地区画整理事業地以南の岡通線の整備推進が必要です。</li> <li>・旧暫定逆線引き地区内における区画道路の整備推進が必要です。</li> </ul>

表 2-11 (4) 西部地域

<p>地域の概況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の東側を黒目川が流れています。</li> <li>・地域界の北側を東武東上線が、中心を東西にJR武蔵野線が走り、北東の位置に朝霞台駅、北朝霞駅があります。</li> <li>・黒目川沿いの周辺は市街化調整区域ですが、他の地域は市街化区域となっており、その境目には崖線が南北に通り坂が多くなっています。</li> <li>・駅周辺は、北朝霞土地区画整理事業が完了し、また、地区計画により商業集積が図られています。</li> <li>・志木駅に近い北西の地域や駅周辺及び黒目川沿いの斜面地では、共同住宅が多く立地しています。</li> </ul>
<p>道路を取り巻く状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路幅員が狭く、住宅が密集した地域では防災上の配慮が必要です。</li> <li>・歩道が設置されていない道路が多くあります。</li> <li>・住宅が密集した地域があります。</li> <li>・鉄道駅を起点に多くのバスが運行していますが、一部、公共交通空白地区が残っています。</li> <li>・都市計画道路下ノ原通線、中央通線、黒目川通線が決定されていますが、整備が進んでいません。</li> <li>・朝霞台駅のエレベーター設置等、バリアフリー化が課題となっています。</li> <li>・長期未整備都市計画道路であった中央通線の一部を廃止しました。</li> </ul>
<p>地域内道路の整備課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な歩行者空間の確保や通学路の整備が求められています。</li> <li>・通過交通の車の抜け道などとして利用されている生活道路について、面的速度規制や一方通行化などの導入による交通安全対策が求められています。</li> <li>・駅周辺の駐輪場の有効活用や公共交通機関の充実など、利用しやすい駅前の空間づくりが必要です。</li> <li>・河川沿いの環境を活かし回遊性を高めることが求められています。</li> <li>・黒目川と駅をつなぐ道の整備など、歩きやすく、安全で安心な歩道整備が求められています。</li> <li>・廃止した都市計画道路の代替路線の整備推進が必要です。</li> </ul>

表 2-12 (5) 南部地域

<p>地域の概況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の西側から北部を黒目川が流れており、高台に向かってゆるやかな坂が多く存在します。</li> <li>• 黒目川沿いの低地、及び当地域の中央に位置する基地跡地、南端の陸上自衛隊朝霞駐屯地は市街化調整区域となっています。</li> <li>• 東武東上線が東側を走っており、南東側に朝霞駅があります。</li> <li>• 平成 18（2006）年に広沢土地区画整理事業が完了し、平成 19（2007）年には朝霞駅南口広場が整備されました。</li> <li>• 基地跡地では、「朝霞の森」がオープンし、子どもたちが遊べる広場となっています。また、市道 8 号線沿いに幅員 30m のシンボルロードの整備を進めています。</li> <li>• 主要幹線道路である国道 254 号（川越街道）の沿道にある旧朝霞第四小学校跡地周辺は、交通の利便性などの立地特性を生かして、地域経済と雇用を支えるまちづくりに重点的に取り組む「まちづくり重点地区」に位置づけています。</li> </ul>
<p>道路を取り巻く状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 道路幅員が狭く、歩道が設置されていない道路が多くあります。</li> <li>• 地域の南側を国道 254 号（川越街道）が横断しており、他地域から東京都心などへの通過車両が多く見られます。</li> <li>• 朝霞駅を起点に多くのバスが運行していますが、一部、公共交通手段が不足している地域があります。</li> <li>• 住宅が密集した地域があります。</li> <li>• 長期未整備都市計画道路であった中央通線及び駅西口富士見通線の一部を廃止し、新たに本町 1 号線を都市計画決定しました。</li> </ul>
<p>地域内道路の整備課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 安全な歩行者空間の確保や通学路の整備が求められています。</li> <li>• 朝霞駅と市内の主要施設を効果的に結ぶよう、バス路線網の見直しなど、公共交通手段の充実が求められています。</li> <li>• 住宅地における体系的な交通網の充実や、狭あい道路や行き止まり道路の解消などが望まれます。</li> <li>• 抜け道などとして利用されている生活道路について、面的速度規制や一方通行化などの導入による交通安全対策が求められています。</li> <li>• 東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に向けて、観音通線の全線供用開始や自転車通行帯等の整備、シンボルロードの整備推進が必要です。</li> <li>• 旧朝霞第四小学校跡地については、工業系での土地活用が進められており、近接する道路の整備を推進する必要があります。</li> <li>• 廃止した都市計画道路の代替路線の整備推進が必要です。</li> </ul>